

2021年度第3回町田市子ども・子育て会議

議事要旨

【開催概要】

日 時：2022年1月6日（木） 18：00～19：50

開 催：市庁舎 第1委員会室

【議事次第】

1 開 会

2 事務連絡

3 議 題

- ・「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案）について

4 報 告

- (1) 「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」の2021年度上半期の進捗について
- (2) 小山田子どもクラブの整備スケジュールの見直しについて
- (3) 日本初！ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体覚書を締結しました
- (4) 2021年度保育施設等の整備について
- (5) 病児保育施設の新設について
- (6) ガバメントクラウドファンディングを活用して「おうちでごはん事業」への寄附を募ります
- (7) 「子どもとその家庭からの相談」の2020年度実績の訂正について
- (8) 大地沢青少年センターの民間活力導入について

5 その他

6 閉 会

【配布資料】

- 資料 1 「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」の事業者調査結果報告書
- 資料 2 「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案）
- 資料 3 - 1 「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」の 2021 年度上半期の進捗について
- 資料 3 - 2 「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」2021 年度実績 中間報告書
- 資料 4 小山田子どもクラブの整備スケジュールの見直しについて
- 資料 5 日本初！ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI) 実践自治体覚書を締結しました
- 資料 6 2021 年度保育施設等の整備について
- 資料 7 病児保育施設の新設について
- 資料 8 ガバメントクラウドファンディングを活用して「おうちでごはん事業」への寄附を募ります
- 資料 9 「子どもとその家庭からの相談」の 2020 年度実績の訂正について
- 資料 10 大地沢青少年センターの民間活力導入について

2021年度第3回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

氏名	所属	出欠
◎吉永 真理	昭和薬科大学	出
○鈴木 美枝子	玉川大学	出
小林 保子	鎌倉女子大学	出
駒津 彩果	東京三弁護士会多摩支部	出
矢口 政仁	町田市私立幼稚園協会	出
関野 鎮雄	町田市法人立保育園協会	出
馬場 昭乃	町田市社会福祉協議会	出
鶴田 尚子	社会福祉法人 福音会	欠
工藤 成	町田市立小学校校長会	出
高橋 博幸	町田市立中学校校長会	出
森山 知也	東京都立町田の丘学園	出
赤木 律子	町田市民生委員児童委員協議会	出
鈴木 暁代	町田市立中学校 PTA 連合会	欠
風張 眞由美	町田市医師会	欠
澤井 宏行	町田商工会議所	欠
金井 玲奈	市民	欠
岸 洋一郎	市民	出
高倉 麻依子	市民	欠
福田 麗	町田市青少年委員の会	出
酒井 恵子	町田市障がい児・者を守る会すみれ会	出

◎会長 ○副会長

・備考： 傍聴者（0名）

2021年度第3回町田市子ども・子育て会議 事務局出席者

氏 名	所 属
神田 貴史	子ども生活部部長
鈴木 亘	子ども生活部子ども総務課課長
早出 満明	子ども生活部児童青少年課課長
大坪 直之	子ども生活部保育・幼稚園課課長
市川 裕之	子ども生活部子育て推進課課長
江藤 利克	子ども生活部子ども家庭支援センター長
新谷 太	子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長
守屋 靖	子ども生活部大地沢青少年センター所長
勝又 一彦	地域福祉部障がい福祉課課長
川瀬 康二	保健所保健予防課担当課長
辻 和夫	学校教育部教育センター担当課長

子ども総務課事務局：奥 雅文、吉田 織子、尾島 早紀

【議事内容】

1 開会

子ども総務課企画総務係長：定刻となりましたので、ただいまから、2021年度第3回町田市子ども・子育て会議を開会いたします。

まずは、子ども生活部長神田からごあいさつをさせていただきます。神田部長お願いいたします。

【神田部長あいさつ】

2 事務連絡

子ども総務課企画総務係長：神田部長ありがとうございました。それでは、議事に入る前に、欠席等のご連絡をいただいておりますのでお伝えいたします。澤井委員・風張委員・金井委員から欠席の連絡をいただいております。（鶴田委員・鈴木委員・高倉委員欠席。）なお、事務局についてですが、学校教育部指導室長の小池に替わり、教育センター担当課長辻が代理で出席させていただきます。半数以上の委員のご出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。

本日の会議でございますが、1時間半程度を目安に進行してまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、会議の公開についてですが、今日は傍聴の方はおりません。議事に進みます。

■資料の確認

〔資料1～10の確認〕

子ども総務課企画総務係長：それではここからの進行につきましては、吉永会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

吉永会長：皆さん、お久しぶりです。次第を見ますと、今年度はまだ3回しか会議を行っていないということに驚き、また、残念な感じがいたします。

今年も、色々なことがある中で、市役所の方や委員の皆さんと一緒に子どもをめぐる問題に、前向きに話し合って行けるよう、盛り上げていければと考えております。今日も活発に発言をしていただき、良い話し合いができればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、今日の議題に入りたいと思います。

3 議題

・「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案） について

吉永会長：「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案）について、事務局より説明をお願いします。

〔資料1の説明〕

吉永会長：資料1「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」の事業者調査結果報告書を説明していただきました。アンケートとヒアリングの両方あって難しかったと思いますが、調査結果についてキーワードを中心にまとめていただきました。最初にまとめがあり、後ろに参考として全部の資料が掲載されているという構成になっています。そして、アンケートとヒアリング両方のキーワードの抽出がされていて、同じようなところもあれば、違うところもあるという様に説明していただきました。何か質問があればお願いします。

駒津委員：幼稚園・保育園・こども園、それぞれで現状が違うと思います。例えば、保育園のニーズは増えているが、幼稚園のニーズは減っているというような。今回の調査ではそういったことは対象に入っているのでしょうか。

子育て推進課長：施設の種別によって捉え方に違う部分はあるかと考えます。違いについては、P17に施設のあり方のご意見を種別ごとにまとめております。保育所は利用定員についてのご意見、幼稚園・こども園は質の向上についてのご意見を多数いただきました。それらを踏まえてあり方を考えてまいります。

吉永会長：それでは続いて、「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案）について説明をお願いします。

〔資料2の説明〕

吉永会長：説明ありがとうございます。今回は、質問を中心に出していただいて、ご意見については「意見シート」に記入をしていただき、1月20日（木）までに子ども総務課に提出して欲しいとの話でしたので、そのような形で進めたいと思います。質問と意見を分けてご発言いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

矢口委員：利用定員についてですが、ある程度話が進んでいるのか、これを基にこの会議で話し合っていくのか教えてください。施設運営にとって定員は死活問題です。町田市は地域で状況がそれぞれ異なっていると思いますが、利用定員のルールはどの

ように考えられているのでしょうか。

子育て推進課長：定員に関する統一的なルールということで、ご説明させていただきましたが、具体的な内容につきましては、今回の答申を踏まえ、改めて事業者の方とお話をしながら検討していきたいと考えています。地域差という部分についても考慮しながら、丁寧に検討する必要があるかと考えています。

矢口委員：先月行われた国の子ども・子育て会議の中でも、行政が利用定員を速やかに受け入れるべき方向と話し合われていたかと思います。できれば、方向性は早めに決めていただければと思います。2022年度4月の募集は終わっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で今後待機児童数がどうなるか分かりませんので、そこも踏まえて考えていただければと思います。

岸委員：アンケート結果の冒頭ですが、今回は断面の結果だと思うのですが、過去からの変遷のようなものがあれば、変化を見ながら今回の提言を見ていきたいのですが、提示していただくことは可能ですか。

子育て推進課長：各施設にこのような形でアンケートやヒアリングを行ったのは、初めてのことなので、経年での変化をお示しすることはできません。今後検討をする中で、今回のアンケートやヒアリングに準じた形で、推移に関して把握していきたいと考えております。

関野委員：確認になりますが、P42の「様々な保育事業」の中で、「病後児保育」が実施園数5園とありますが、4園ではないでしょうか。

子育て推進課長：林クリニックは2019年10月から、病後児保育も対応していただいておりますので、あわせて5園となります。

駒津委員：P48の公立保育園の役割についてですが、「市内5地域に1園ずつ公立保育園を運営して行くことが必要と考えます。」とありますが、現在公立保育園は1園ということでしょうか。

子育て推進課長：各地域に1園ずつあり、5園を維持するということです。

小林委員：同じくP48の公立保育園の役割についてですが、提言にも出てきますが、「医療的ケア児をはじめ、個別対応を要する児童の受け入れ等の保育サービスのセーフティーネットとしての役割を担っています。」とありますが、ここでいう「セーフティーネット」を分かりやすく説明すると、どういうことでしょうか。

子育て推進課長：施設の状態によって、受け入れが難しい児童がいる中で、公立保育園については受け入れる体制を確保することが必要と考えています。そういった意味で

のセーフティーネットになります。

小林委員：そうすると、最終的なところでの確保、いわゆる保育の保障というところでのセーフティーネットということですね。何度かこの表現が出てきますが、個別対応を要する児童や医ケア児と限定されていたので、そこに強く印象付けられるものがあるのかと思い、確認させていただきました。

吉永会長：今のところは「等」というのが重要なのでしょうか。それ以外にも最終的に色々保障するということですかね。現状にも書いてありますが、これは今やっていることでしょうか。最終的に色々な保障する役割を担っていくということに寄せて、現状はそうではないということかと思いましたが、現状もセーフティーネットの役割を果たしているということですか。

子育て推進課長：医ケア児については、ガイドラインに沿って、各公立保育園で受け入れを行っています。そういう意味でもセーフティーネットの役割を果たしていると考えます。

吉永会長：意見になってしまいますが、現状と今後が同じになっているので、ちょっとおかしい感じがしました。

矢口委員：P 4 4 の「1 教育・保育の質」の「環境」（ハード面）にある、「設備及び運営の基準（人員配置や面積等）」ですが、元々 3～5 歳児の定員の 2 0 対 1、3 0 対 1 というのは何十年も変わってないのですが、面積もそうですが、そういったものを考えていくということでしょうか。関西では 4 歳児 5 歳児の 3 0 対 1 を 2 0 対 1 にするなど、進んでいるのですが、そういう方向性を考えるということでしょうか。

子育て推進課長：具体的な設備や設置の運営基準をどこまで変えていくか、ということに関しては、国や都、他自治体の動向を見ながらという形になります。積極的にその部分についての検討は、現段階では予定しておりませんが、包括的に環境面を考えていきたいと思えます。

馬場委員：P 4 8 の「公立保育園に対する基本的な考え方」にある、ここで言っている公立保育園は、公設で公営のことを言っているのでしょうか。

子育て推進課長：公設公営です。

鈴木副会長：P 4 4 「環境」（ハード面）に感染症対策ガイドライン、アレルギー対策ガイドラインが入っていますが、これらの内容としては対応等が含まれているので、ソフトにかかわるものかと思いますが、どのようなイメージでハード面に入ってい

るのでしょうか。

子育て推進課長：ご指摘のとおり、環境だけではなく、内容や人材にも要素は含まれていると考えますが、安全面という部分を優先して考えて環境に入れていきます。

関野委員：10月に送られてきた素案と今回の素案で、文言が違う部分があると思いますが、例えばP16の20年型の賃貸借契約について、「また、賃貸借契約の更新については、事業者が今後建物オーナーと話を進めていくべきものと考えます。」となっていますが、10月時点では「運営事業者と市側双方が認識している契約更新についての懸念は、今後運営事業者は建物オーナーと話を進めていくべきものと考えます。」となっていました。「懸念」という部分がなくなっていますが、これはどういう主旨でしょうか。

子育て推進課長：ご指摘のあったページについては、10月の時点では、各地域の方向性の中で掲載していましたが、今回の素案では、P37「⑤20年型・小規模保育所の取扱いについて」で総括としてまとめた形となっています。

関野委員：P37とあわせて変更点を確認します。

吉永会長：それでは、細かい質問も出ましたので、後は提言等も確認していただき、意見としてまとめていただければと思います。せっかくいらしているのので、皆さんに発言していただきたいところですが、工藤先生いかがですか。

工藤委員：保育園・幼稚園と小学校がどういった交流ができるかなと思いながら拝見しておりました。

吉永会長：そういうご意見も寄せていただければと思います。

子ども生活部長：今回意見シートという形にさせていただきましたが、意見だけではなく、おかしいと思った点や言い回しが違う点等があればお寄せください。また、特に検討の方向性について意見をいただきたく、要素やキーワードでも構いませんので、何かあればお寄せください。2月10日には、全てのご意見に対して回答をお示ししたいと思います。いただいたご意見を基に、再度報告書を提案させていただきたいと思います。ご協力の程よろしく願いいたします。

4 報告

吉永会長：それでは、事務局から報告をしていただきます。

[報告事項(1)～(8)の報告]

吉永会長：今の報告についてご質問ある方お願いします。特になければその他に進みます。

す。

5 その他

吉永会長：その他、何かございますか。CFCIについては、私も関わっているところではありますが、5自治体の中でも良い方向で進められていると思います。他になれば進行を事務局にお返しします。

6 おわりに

子ども総務課企画総務係長：吉永会長、ありがとうございました。

議題の中でもご説明いたしました、「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案）につきましては、「意見シート」を委員の皆様にお送りいたしますので、ご意見のある方は1月20日（木）までに、子ども総務課へメールでご提出いただければと思います。いただいたご意見につきましては、取りまとめたうえで皆様にお示ししたいと考えております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、次回の会議は、来月2月10日（木）となります。場所は同じく、市庁舎3階第1委員会室の予定です。最後に、本日、お車でいらした方に「来庁者確認カード」をお渡しいたします。警備員窓口に「子ども・子育て会議」に出席していた旨、申し出ていただき、駐車券の無料処理を行ってください。以上をもちまして、2021年度第3回子ども・子育て会議を閉会いたします。ありがとうございました。